

なまえ
名前

以下の URL または QR コードから動画を見て、問いに答えましょう。

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/basickokugo/archive/chapter024.html>



◆「指示語」のはたらき

指示語とは、「これ」「その」「あちら」のように、物や場所など具体的な内容を指し示したり、尋ねたりするときに用いる言葉です。また、同じ言葉の繰り返しを避けるときにも用いられます。

この表は、指示語を体系的にまとめたものです。「こそあど言葉」とも言います。

	近距離	中距離	遠距離	不定
	話し手(自分)の領域	周りの人(相手)の領域		不定
	こ	そ	あ	ど
物事	これ	それ	あれ	どれ
	この(+名詞)	その(+名詞)	あの(+名詞)	どの(+名詞)
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方向・人	こちら/こっち	そちら/そっち	あちら/あっち	どちら/どっち
様子	こう(+動詞)	そう(+動詞)	ああ(+動詞)	どう(+動詞)
	こんな(+名詞)	そんな(+名詞)	あんな(+名詞)	どんな(+名詞)

◆「指示語」が示す内容を理解する

文中に出てくる指示語は、繰り返しを避けるものが多く、指示語の内容はおおむね指示語の直前に述べられます。まれに、指示語の直後に述べられるものもありますので、注意しましょう。長文の場合は、「指示語」が形式段落の「冒頭」に書かれているかどうかを確認しましょう。冒頭にある場合は、おおむね前の形式段落の要約が答えになります。また、指示語が形式段落の「途中」にある場合は、おおむね同じ形式段落の「指示語」より前の部分に答えを見つけることができます。ただし、文脈によっては、指示語より後に書かれていることもあります。

【例題】 次の文中の傍線①、②の指示語が示す内容を答えましょう。

吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたか とんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩は①ここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くと②それは書生という人間中で一番獐悪な種族であったそうだ。

(夏目漱石『吾輩は猫である』)

◆「指示語」の内容の読み取り方

手順1 「指示語」の直前(直後)を読む。

→ここで答え(指示語の内容としてふさわしい語句)がわかる。(わかったら手順4で確認する。迷ったら、手順2、手順3の順に。)

手順2 「指示語」の性質(物事・場所・方向(人)・様子)を見る。

→傍線①「ここ」は、「場所」 →傍線②「それ」は「物事」

手順3 手順2を踏まえ「指示語」とその後続く文を入れ替えて、「疑問形」に直す。

→傍線①「ここ(場所)で始めて人間というものを見た」→「始めて人間というものを見た『場所』は？」
= 答え① []

→傍線②「それ(物事)は書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ」→「書生という人間中で一番獰悪な種族であった『もの』は？」 = 答え② []

手順4 「指示語」の内容としてふさわしい語句(答え)を本文に当てはめて、文意が通るかを判断する。

→傍線部① = 答え① []

[本文] 吾輩は薄暗いじめじめした所で始めて人間というものを見た。 文意 ○

→傍線部② = 答え② []

[本文] しかもあとで聞くと始めて見た人間は書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。

文意 ○(点線部をつなげて読むと、正しいのがわかる。)

答え②を「人間」にした場合

[本文] しかもあとで聞くと人間は書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。

文意 ×(点線部をつなげて読むと、間違っているのがわかる。)

◆まとめ

指示語は、具体的な言葉の代わりに使われる語です。話し手の言葉や文脈の中に隠された具体的な言葉を探りながら、話し手の真意や正しい文脈を読み取りましょう。

確認問題 動画を見て答えよう。

Q1 「指示語」についての説明を、次の中から一つ選ぼう。

A 指示する事柄を具体的に述べたり説明したりするときに使う言葉。

B 相手に指図したり命令したりするときに使う言葉。

C ある物事や場所などを指し示したり尋ねたりするときに使う言葉。



つか わ きじゆん かんが かた つぎ なか ひと えら
Q2 「これ」「それ」「あれ」の使い分けの基準となる考え方を次の中から一つ選ぼう。

たいしょう じぶん きより えんきん
A 対象となるものと自分との距離の遠近。

たいしょう そんざい じぶん あいて りょういき ちが
B 対象の存在が自分にあるか相手にあるかなどの領域の違い。

じぶん だいさんしゃ ここ にんしき たいしょう たい しゅかん
C 自分や第三者が個々に認識している、対象に対する主観。



わたし や にく た ひとねん ぶんしょうちゆう き しめ ないよう
Q3 「私は焼き肉を食べた。それは一年ぶりのことだった。」という文章中の「それ」が指し示す内容を、次の中から一つ選ぼう。

やきにく
A 焼肉

やきにく た
B 焼肉を食べたこと

いちねん
C 一年ぶりのこと



はってんもんだい ぼうせん しじご ないよう よ と こた
発展問題 傍線部の指示語が示す内容を読み取り、答えをまとめよう。Q3、4の③、5の④、6の③は、答えとなる部分の最初と最後の五字(句読点含む)を抜き出そう。

えいが せいさくしよう もくてき ぶんるい きょういくえいが せんでんえいが
Q1 映画はその制作使用の目的によっていろいろに分類される。教育映画、宣伝映画、ニュース映画などの名称があり、またこれらの各々の中でも色々な細かな分類ができる。(寺田寅彦『映画芸術』)

Q1

すいれん ちか かわぼね いっしゅ う くさ
Q2 あの睡蓮は近ごろのものである。もとは河骨のようなものと、もう一種の浮き草のようなものがあったのだと記憶している。ことしは睡蓮が著しく繁殖して来た。紅白二種のうちで、白いほうが繁殖力が大きいように思われる。実際そうであるか、どうか、これらの各々の中でも色々な細かな分類ができる。(寺田寅彦『池』)

Q2

やまみち のぼ かんが ち はたら かど た じょう さお なが いじ とお
Q3 山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とにかく人の世は住みにくい。(夏目漱石『草枕』)

Q3

いっばんでき さぎょう じどうてき おこな きかい
Q4 ところで、ロボットとは、一般的に作業を自動的に行う機械のことをいいます。しかし、それぞれの作業は、人間がロボットに指示したものなのです。予め、人間は、作業の手順や仕方について、ロボットの頭脳であるコンピュータに指示しておきます。①その指示のことを、「プログラム」といいます。つまり、ロボットは、人間の与えるプログラムの通りに動き、それ以外のことはしないのです。

プログラムを作る際に、忘れてはならないことがあります。②それは、ロボットが人間に危害を与えないようにするという指示です。以前に、作業員がたまたまロボットのそばに立っていたところへ、後ろから突然ロボットの腕が回転してきて、頭に当たり大怪我をしたことがありました。③このような事故を防ぐには、危険地域に入った人間に注意したり、直ちに動きを停止したりするようなプログラムが必要

なのです。(雀部 晶『人間とロボット』)

①

②

③

Q5 波がやってくる時、小石のようなものがたくさん、波と戯れてでもいるかのようにころころと転がってきます。ところが、波が引いてみると、①そこには何にも見当たりません。次の波が来ると、また転がるのが見えます。②それは、白や黄や紫の、きれいな色をしていました。

近づいてよく見ると、③それは石ではありませんでした。1.5cmくらいの、三角形をした、色とりどりの二枚貝でした。波が打ち寄せるときに顔を出して、そのまま波に乗って移動し、波が引くときには砂に足を突っ込んで潜ってしまうので流されずに残り、また波が来るとびよんと飛び出して……。④その巧

みな動きに、私は目を見張りました。(森主一『波にたわむれる貝』)

①

②

③

④

Q6 どうして、貝には、波が打ち寄せてくる瞬間がわかるのでしょうか。どうして、潮がだんだん満ちているときと、引いているときの区別がつくのでしょうか。①これは、よく研究してみる値打ちがあるようだ、私は考え始めました。

②それからというもの、私は泳ぐのも忘れて、波打ち際の貝の動きばかりを見ていました。よく観察していると、満ち潮の時、貝は波がかぶさるより一瞬早く飛び出します。私には、どうも波がざざっと寄せる時、砂浜が微妙な振動をするのが、飛び出すきっかけになっているように思われました。

③この仮説を確かめるために、実験をしました。(森主一『波にたわむれる貝』)

①

②

③

いちいちはや、みなさんと一緒に学校で学習できるよう願っています。がんばりましょう！